

KNT—CTパートナーズ会総会特集

新体制で地域の魅力を発信

KNT—CTパートナーズ会北海道連合会員の皆さま、本年もようしくお願ひ申し上げます。この1年を振り返りますと、昨年の10月から本年3月にかけてKNT—CTホールディングスが「一体となった北海道キャンペーンが実施されました。



分散型観光ルートを開発

濱野 清正会長 (洞爺湖万世閣ホテル)

北海道連合会

2025年度に行われたKCP会の組織改正では、一部の連合会で統合が実施された。これに伴い、北東北・南東北を「東北連合会」に、関東甲信越・首都圏を「関東連合会」に、東海・北陸を「中部連合会」に、中国・四国を「中国四国連合会」に再編。従来の12連合会から8連合会へ組織のスリム化が図られた。新たな体制での地域共創に向けた取り組みについて、各連合会長から寄稿いただいた。

8連合会長に聞く事業方針

これまでKNTやCTの個人旅行を対象にしたキャンペーンの実施はありましたが、KNTの団体部門やCTを含めたホールディングス全体でのキャンペーンは今回初めての実施となりました。期間中の取り扱いは、前年比1.5倍と大きくは伸びていません。北海道の自然や文化、豊かな恵まれた大地の食を生かした体験型観光を進めていくことと、地域観光の活性化には、DMOの戦略立案と専門的な知識を持つ人材の育成が急務となっており、パートナーズ会としても、国内のみならず海外も含め

地域と連携し地域に根ざした活動をさらに推し進めてまいりたいと思っております。昨年は、航空燃料や空港運営のマンパワー不足などで、海外エアーラインを思うように誘致できなかった状況がありました。千歳空港以外の地方空港への海外エアーライン誘致を促すことが来道インバウンド600万人達成に向けて必須となり、課題となっており、パートナーズ会と連携し、北海道観光機構や北海道空港など関係各所の皆さまにも密に連携をしながら、ワンストップ誘致にも尽力してまいります。

旅行業界を取り巻く環境は、ここ数年でパワフルからウェブ中心のシフトが加速し、北海道外から北海道へ旅行商品が送られてくる状況が顕著です。昨年度はインバウンドにより入込客数が増加する一方、原材料費やエネルギーコストの高騰人

とができました。そして2018年度比でも90%台の回復の勢いが見えます。特に、訪日向けサイト(JTO)による宿泊予約の取扱は、2018年度を大きく上回っており、伸長し、今後も期待が持てます。KNT—CTパートナーズ会北海道連合会の本年度目標達成と北海道全

手不足に伴う人件費の上昇等に対し、価格転嫁が追いつかず、倒産や廃業に追い込まれる企業施設が増加しました。今年度はさらにランフ開帳による国際観光の不安定化等を踏まえ、この傾向は今後とも続くものと思われ、事業活動に際し、連合会

平素より東北連合会の事業活動に際し、連合会を会員並びにKNT—CTホールディングスグループ各社の皆さまには多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、地方においては少子高齢化の波が顕在化し、地方創生への取り組みが急務となっております。このような中、当連合会

生しました。KNT—CTパートナーズ会東北連合会といたしましては、規約を一部改正し、各支部情報連絡委員長を理事に選任することとし、事業活動に情連連合会を主体とする各支部活動との連携を強化し、着型商品の開発に取り組んでまいります。

日ごろより連合会の事業活動に対し、KNT—CTホールディングスグループ各社の皆さまには多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。連合会の組織が減少している一方で、インバウンド旅行が急激に拡大し、かつ地方の活性化が今後ますます必要とされており、連合会が4月からスタートしています。連合会には、10支部で組

あります。また、逆に、会として面的連携に取り組めれば新たな商品開発へと展開できるものと思われ、KNT—CT各支部において、それぞれが持つ強みを活かして、地域の観光振興に貢献できることを目指しています。また、管内各支部の地域での活動や、支店としての教育旅行、地域交流事業やエアーキャンペーン等、域内商品販売を目的に、団体個人旅行の需要喚起の一環を担うべきと考えており、また、社会と協業体制を創り上げ、変化に迅速に対応できる関係連合会を目指してまいります。

本年度の連合会方針として、KNT—CTグループ各社との連携をより一層強化し、会員の皆さまに、よりよい旅を提供してまいります。

85th ANNIVERSARY
万世閣ホテルズ
絶景の洞爺湖を望む、温泉展望風呂付客室
湖とつながるような温泉バスルーム、いつでも、何度でも、気の向くままに温泉を満喫。体も心も潤う癒しの休日をお過ごしください。
お問合せ・ご予約 (受付時間 9:00~18:00) 0570-08-3500
ホテル レイクサイドテラス
北海道室蘭市洞爺湖町洞爺湖温泉 21番地

グループ3社に聞く

近畿日本ツーリストブループラネット代表取締役社長

古川 優子氏



昨年6月に近畿日本ツーリストブループラネット(BP)の代表取締役社長に就任された。現在取り組まれていることは、昨年5月に発表した新しい中期経営計画の通り、近畿日本ツーリスト(KNT)と当社を一つの個人旅行事業をグループとして運営すること。現在は商品企画におけるCTとの協業を行っている。

23年度は客室の仕入れ値が比較的稳定していたことに加え、全国旅行支援も実施され、回復したが、24年度は訪日旅行需要の急増や物価高騰などにより、宿の仕入れ値が上昇したため、OTAとの価格競争が激化している。

24年度の販売高は前年比約9割で、22年度と同等の実績となっているが、営業利益は、Pの個人旅行事業の合計で22年度より改善している。グループ全体で事業構造改革が行われている国内個人旅行事業のCTを軸とした一体的運営として、具体的な取り組みを、まずはマーケティング力の強化が急務だ。CTは製販一致や社員派手な接客、顧客接点が多く、顧客ニーズの把握が仕組まれている。また、デジタルマーケティング情報やツアー参加履歴なども、顧客のセグメンテーションやターゲティングを行うのに役立つ。

販売促進に向けた取り組みについては、当社は現在、マーケティングが主手法で、商品企画やマーケティング担当者には十分な顧客接点を持っている。また、コロナ禍で顧客データ分析を休止していた。そこで今年3月から、当社の顧客データをCTの顧客分析チームと連携する取り組みを、約2年ぶりに再開した。CTの協力を得て、5月中旬にはRFM分析や最新のKNT—CT顧客の重複率などの分析が完了する見込みだ。

マーケティング強化のほか、取り組みとしては、事業構造改革に伴い、KNTの国内個人旅行商品の企画・ウェブ販売部門が当社に移管されたが、仕入れ部門はKNTにある。当社が取り扱う宿泊プランや宿泊交通セット商品について、客室手入れは最も重要な業務であり、仕入れの良し悪しが売れ行きや顧客満足度にも表れる。

現在当社では、予約客室を活用したウェブ販売専用宿泊プラン「エコー」を販売しているが、OTAをはじめとする他社との価格競争で苦戦している。その要因の一つとして、需要に応じた適切なマーケティングでのエコープランの料

金内容の良さが不十分であることが挙げられる。社員が、日中ウェブサイトをチェックし、価格調整を行うのも大変な負担だ。そこで本年度上期までに、ウェークローを導入する。ウェークローを導入すると、顧客はどのようなか、消費額もわかる。今後、店頭販売を管轄するKNTとともに、パンフレットの在り方を改めて、商品企画の強化を行う。え、訴求内容や見せ方も変える。通りの今年7月1日付で当

OTAが旅行の検索・予約で順調に利用されている。一方、近年OTA Travel Agentの指定検索による購買動向も、KCP会と連携し、購買動向を把握し、自社で積極的に開拓できるようなりたい。まずは顧客分析を把握し、KCP会から提供される国内各地の観光情報や、KCP会から提供される観光情報に、フラッシュアップしていく必要がある。

今年4月にはCTが「パーソナルデザイン旅行センター」を開業した。まさにそれがCTを軸とした、一体的運営の取り組みの一つだ。現在、CTの担当者6人が当社とオフィスをともにし、宿泊施設さまからお預かりしている客室を利用した交通アクセスと観光コンテンツ付き商品を開発している。将来的に、交通アクセス付き商品の企画はCTに集約されていく予定だ。また、当社としてもCTが開発したコンテンツを利用した宿泊プランも作成する。

一、地域自治体等と連携してSDGsを含めた素材の開発や新たな旅行商品の情報提供、ウェブ商品への活用を進め、販売チャネルや訪日客の誘客情報の発信をする。二、会社と共同して連合会・地域ブロック・支部主導のエアーキャンペーンや域内販売活動、商談会等の実施。三、社員現地研修、商談会、情報連絡協議等への参加。四、困難を乗り越えて連合会事業活動を推進してまいります。最後になりましたが、会員の皆さまには、新たな連合会のスタートにあたり今後の活動へのご理解と協力、KNT—CTグループへのご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

北陸・加賀 山代温泉
瑠璃代
石川県加賀市山代温泉 19-58-1
TEL: 0761-77-2323 http://urukoh.jp/
葉渡莉
石川県加賀市山代温泉 17
TEL: 0761-77-8200 http://hatori.jp/

強化が急務だ。CTは製販一致や社員派手な接客、顧客接点が多く、顧客ニーズの把握が仕組まれている。また、デジタルマーケティング情報やツアー参加履歴なども、顧客のセグメンテーションやターゲティングを行うのに役立つ。

販売促進に向けた取り組みについては、当社は現在、マーケティングが主手法で、商品企画やマーケティング担当者には十分な顧客接点を持っている。また、コロナ禍で顧客データ分析を休止していた。そこで今年3月から、当社の顧客データをCTの顧客分析チームと連携する取り組みを、約2年ぶりに再開した。CTの協力を得て、5月中旬にはRFM分析や最新のKNT—CT顧客の重複率などの分析が完了する見込みだ。

マーケティング強化のほか、取り組みとしては、事業構造改革に伴い、KNTの国内個人旅行商品の企画・ウェブ販売部門が当社に移管されたが、仕入れ部門はKNTにある。当社が取り扱う宿泊プランや宿泊交通セット商品について、客室手入れは最も重要な業務であり、仕入れの良し悪しが売れ行きや顧客満足度にも表れる。

現在当社では、予約客室を活用したウェブ販売専用宿泊プラン「エコー」を販売しているが、OTAをはじめとする他社との価格競争で苦戦している。その要因の一つとして、需要に応じた適切なマーケティングでのエコープランの料

金内容の良さが不十分であることが挙げられる。社員が、日中ウェブサイトをチェックし、価格調整を行うのも大変な負担だ。そこで本年度上期までに、ウェークローを導入する。ウェークローを導入すると、顧客はどのようなか、消費額もわかる。今後、店頭販売を管轄するKNTとともに、パンフレットの在り方を改めて、商品企画の強化を行う。え、訴求内容や見せ方も変える。通りの今年7月1日付で当

OTAが旅行の検索・予約で順調に利用されている。一方、近年OTA Travel Agentの指定検索による購買動向も、KCP会と連携し、購買動向を把握し、自社で積極的に開拓できるようなりたい。まずは顧客分析を把握し、KCP会から提供される国内各地の観光情報や、KCP会から提供される観光情報に、フラッシュアップしていく必要がある。

今年4月にはCTが「パーソナルデザイン旅行センター」を開業した。まさにそれがCTを軸とした、一体的運営の取り組みの一つだ。現在、CTの担当者6人が当社とオフィスをともにし、宿泊施設さまからお預かりしている客室を利用した交通アクセスと観光コンテンツ付き商品を開発している。将来的に、交通アクセス付き商品の企画はCTに集約されていく予定だ。また、当社としてもCTが開発したコンテンツを利用した宿泊プランも作成する。

一、地域自治体等と連携してSDGsを含めた素材の開発や新たな旅行商品の情報提供、ウェブ商品への活用を進め、販売チャネルや訪日客の誘客情報の発信をする。二、会社と共同して連合会・地域ブロック・支部主導のエアーキャンペーンや域内販売活動、商談会等の実施。三、社員現地研修、商談会、情報連絡協議等への参加。四、困難を乗り越えて連合会事業活動を推進してまいります。最後になりましたが、会員の皆さまには、新たな連合会のスタートにあたり今後の活動へのご理解と協力、KNT—CTグループへのご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

進化する日本の宿
北陸・加賀 山代温泉
瑠璃代
石川県加賀市山代温泉 19-58-1
TEL: 0761-77-2323 http://urukoh.jp/
葉渡莉
石川県加賀市山代温泉 17
TEL: 0761-77-8200 http://hatori.jp/

着型商品の開発に尽力

渡邊 和裕会長 (水織音の宿山水荘)

平素より東北連合会の事業活動に際し、連合会を会員並びにKNT—CTホールディングスグループ各社の皆さまには多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、地方においては少子高齢化の波が顕在化し、地方創生への取り組みが急務となっております。このような中、当連合会

生しました。KNT—CTパートナーズ会東北連合会といたしましては、規約を一部改正し、各支部情報連絡委員長を理事に選任することとし、事業活動に情連連合会を主体とする各支部活動との連携を強化し、着型商品の開発に取り組んでまいります。

日ごろより連合会の事業活動に対し、KNT—CTホールディングスグループ各社の皆さまには多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。連合会の組織が減少している一方で、インバウンド旅行が急激に拡大し、かつ地方の活性化が今後ますます必要とされており、連合会が4月からスタートしています。連合会には、10支部で組

あります。また、逆に、会として面的連携に取り組めれば新たな商品開発へと展開できるものと思われ、KNT—CT各支部において、それぞれが持つ強みを活かして、地域の観光振興に貢献できることを目指しています。また、管内各支部の地域での活動や、支店としての教育旅行、地域交流事業やエアーキャンペーン等、域内商品販売を目的に、団体個人旅行の需要喚起の一環を担うべきと考えており、また、社会と協業体制を創り上げ、変化に迅速に対応できる関係連合会を目指してまいります。

本年度の連合会方針として、KNT—CTグループ各社との連携をより一層強化し、会員の皆さまに、よりよい旅を提供してまいります。

方針に沿いながら地域の特性を生かした事業を展開し、取り組みの柱である宿泊券、観光券、船車券増売にむけて進んでいく所存です。

85th ANNIVERSARY
万世閣ホテルズ
絶景の洞爺湖を望む、温泉展望風呂付客室
湖とつながるような温泉バスルーム、いつでも、何度でも、気の向くままに温泉を満喫。体も心も潤う癒しの休日をお過ごしください。
お問合せ・ご予約 (受付時間 9:00~18:00) 0570-08-3500
ホテル レイクサイドテラス
北海道室蘭市洞爺湖町洞爺湖温泉 21番地